



## 証明書モニタリングの概要

管理者は、自動化されたシステムが Unified Communications Manager および IM and Presence Service サービスに含まれている場合、証明書を追跡および更新する必要があります。証明書モニタリングは、管理者が証明書のステータスを継続的に知り、証明書の有効期限が近づいたときに電子メールで通知を受信するのに役立ちます。

- [証明書モニタリングの設定（1 ページ）](#)

## 証明書モニタリングの設定

Cisco Certificate Expiry Monitor ネットワークサービスが実行されている必要があります。このサービスはデフォルトで有効になりますが、Cisco Unified Serviceability でサービスが実行されていることを確かめるには、[ツール (Tools)] > [コントロールセンター - ネットワークサービス (Control Center - Network Services)] を選択し、[Cisco Certificate Expiry Monitor サービス (Cisco Certificate Expiry Monitor Service)] のステータスが [実行中 (Running)] であることを確認します。

### 手順

- Step 1** Cisco Unified OS Administration で、[セキュリティ (Security)] > [証明書モニタ (Certificate Monitor)] を選択します。
- Step 2** 設定の詳細を入力または選択します。
- Step 3** [保存 (Save)] をクリックして、設定を保存します。

(注) デフォルトで、証明書モニタサービスは24時間ごとに1回実行されます。証明書モニタサービスを再起動すると、サービスが開始され、24時間後に実行する次のスケジュールが計算されます。証明書の有効期限が7日以内に近づいても、この頻度は変わりません。このサービスは、証明書の有効期限が切れる1日前から、有効期限が切れた後も1時間おきに実行します。

